

(別記様式)

令和4年度 京都府立西舞鶴高等学校 通信制 学校経営計画 (スクールマネジメントプラン) (実施段階)

| 学校経営方針 (中期経営目標) | 前年度の成果と課題 | 本年度学校経営の重点 (短期経営目標) |
|---|---|--|
| <p>1 社会生活の基盤となる力を身につける。</p> <p>2 望ましい勤労観・職業観を育成し、社会的自立を図る。</p> <p>3 生涯学習の場 (学び直し)の場)としての機能を充実させる。</p> | <p>1 単位修得に向けた個に応じた学習指導や面接指導に加え、放送視聴制度等の活用により、単位修得率が向上した。次年度も単位修得を支援に向けた指導を充実させたい。</p> <p>2 進路説明会や個別指導等、きめの細かい指導を通して、個に応じた勤労観・職業観の育成とともに図ることができた。次年度も、生徒の様々な可能性を模索する進路指導を充実させたい。</p> <p>3 生徒の主体性を育む活動等を通じ、コミュニケーション能力育成及び自己有用感の醸造、希望進路の実現を図ることができた。今後も生徒の多様化を踏まえ、時代の変化に対応した様々な取組を充実させたい。</p> | <p>【「校訓」を踏まえた、総合的な人間力の育成】 「究理 (真理を求め勉学に努める)」「尚志 (高い理想を抱きその実現に努める)」「敬人 (人を敬愛し誠実に生きる)」の精神を踏まえつつ、「努力」と「友情」を基軸に総合的な人間力の育成を図る。</p> <p>1【究理】学習指導の充実 面接指導等の充実とともに、努力を惜しまず学びに向かう姿勢を育む。</p> <p>2【尚志】進路指導の充実 高い希望進路実現のため、個に応じた進路指導を充実させるとともに、望ましい職業観等の育成を図る。</p> <p>3【敬人】コミュニケーション能力の向上 柔軟な教育活動を通して、他者を敬う心を育むとともに、コミュニケーション能力の育成を図る。</p> |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | | 成果と課題 |
|-------------------------|--|--|----|---|--|
| 組織・運営 | 生徒の特性や多様化に応じた学校運営の充実を図る。 | 生徒自身や家庭との連携を深める中で、生徒の特性を理解するとともに、安心安全に学校生活を送れるよう効果的な学校運営に取り組む。【究理】【尚志】【敬人】 | B | A | <p>【成果】 多様な生徒が在籍する中で、連絡会等を通じ、担任及び関係分掌等が情報共有を図り適切な対応を図った。また、教員向け通信は、年間を通して発行できた。 生徒の学び支援のために、教科スクーリングやスタディサプリを導入し、単位修得に向けた取組を推進できた。 学校紹介動画を作成するとともに、公式ホームページも全面的にリニューアルを実施した。 新教育課程実施に当たり、観点別評価等、大局的に検討し運用を図ることができた。</p> <p>【課題】 スクーリング出席やレポート提出に係り、課題のある生徒に対する効果的な手立てを構築することができなかった。</p> |
| | | 教職員向け通信を継続的に発行し、学校運営活性化に向けた様々な情報を提供する。【究理】【尚志】【敬人】 | A | | |
| | 各種情報共有を図り、教職員の協働性を高めるとともに、生徒の効果的な支援活動を執行する。 | <p>生徒の実態に応じた学習指導の充実に向けた取組を展開する。具体的には、教科スクーリングの実施やスタディサプリの導入等に着手する。【究理】</p> <p>連絡会等を通して、生徒の情報共有を図りながら、効果的な支援 (進路指導、コミュニケーション能力の育成等)を模索する。【尚志】【敬人】</p> | B | A | |
| 通信制の理解を深めるため広報活動の充実を図る。 | <p>通信制の理解を図るため、地域社会や関係校に向けて積極的に情報発信を行う。具体的には、公式HPや学校紹介動画、リーフレット等を効果的に活用するよう努める。</p> <p>新教育課程実施にともなう新たな通信制運営に係り、教職員が理解を深めながら、適切に広報活動に当たる。</p> | B | A | | |

| | | | | | | |
|------|---|--|--------|---|---|--|
| 教 務 | 新しい教育課程のスタートに当たり、円滑に学習指導を進める。 | 新しく導入した「教科スクーリング」を充実させる。 放送視聴（高校講座）やスタディサプリの活用 | B B | B | B | 新教育課程切り替えの1年目として円滑にスタートすることができた。教科スクーリングは考查前学習の場として定着した感がある。放送視聴も積極的利用者が多かった。 レポートの交流や面接指導を互いに見学する場を設け、一定相互理解が深まった。 近通研の各部会に全体として積極的に参加できた。 Teams登録者は5割程度。 |
| | 面接指導の進め方やレポートの作成、添削について研究・交流を進め共通理解と質の向上を図る。 | 面接指導やレポートに関する教員の研修を進める。 通信制高校の教育研究団体である近通研や全通研から積極的に情報を得たり、学ぶ機会を作っていく。 | B A | B | | |
| | TeamsなどICTを活用し、生徒、教職員の負担を軽減するなかで、円滑に学習活動を進めていく。 | より多くの生徒がTeamsに登録し、活用できるように進めていく。 | B | | | |
| 生徒指導 | 校内規律を維持する。 | 規則やマナーを遵守するよう、日ごろから継続的に指導する。 施設・設備を正しく使用するよう、指導を徹底する。 | A A | A | A | 校内規律について日ごろから自覚を促す中で、生徒は自発的に規律を守ることができた。 担任、保健部等と連携しながら生徒の様子を見守ったり、面談を繰り返す取組を継続し、常に情報の共有をはかった。 校外学習、体育祭、文化祭等に多くの生徒が参加し、また、生徒会役員を中心に活発な運営が行われた。 自動車、バイク通学者は把握し、事故等の報告はなかったが、交通安全指導は徹底できなかった。 |
| | 生徒との対話を重視する。 | スクーリング日の校内の様子に注意し、生徒の実態観察に努める。 生徒との対話を深めることで、個に応じた指導方法を確立する。 | A A | A | | |
| | 自主活動や学校行事を活性化 する。 | 学校行事や大会への積極的な参加を促す。 生徒会役員を中心として生徒会活動を活発化し、多くの生徒が参加しやすい行事を計画する。 | A A | A | | |
| | 交通災害を防止する。 | 自動車・バイク通学者の把握と指導を徹底する。 スクーリング日の登下校時の見守りを推進する。 | B A | B | | |
| 進路指導 | 自分の進路をしっかりと考えることができるように指導し、希望する進路の実現に向けて支援する。 | 進学希望の生徒に対しては、進学に関する情報を適切に提示し、指導・支援を行う。 就職希望の生徒に対しては、高卒求人だけでなく、ハローワークと連携して一般求人に対しても支援する。 | A B | B | B | 進学希望の生徒に対しては、教員間で情報を共有して適切に指導・援助を行うことができた。 早期から生徒が自分の課題を克服できるように指導することが大切であった。 進路希望をしっかりと持てるように指導することが大切であった。 |
| | 進路未確定や、早期退学・離職とならないように、適切に指導・支援を行う。 | 担任と連携して、生徒・保護者の希望等を正しく理解して、指導・支援を行う。 | B | | | |
| | 進路に関する情報を教員間で共有する。 | 最新の進路情報を収集し、教員間で共有して生徒の指導に活用する。 | A | | | |

| | | | | | |
|-------|--|--|------------|---|---|
| 保健・安全 | 通信課程で学ぶ生徒たちの多様な生活実態や環境を踏まえたきめ細やかな保健指導を行い、める。 | 健康診断や生活習慣アンケートを通して、生活実態を把握するとともに、多様な生徒に対して適切に指導する。 | B | B | 健康診断や生活習慣アンケート結果から見えてくる課題に合わせて保健部の講座を設定することができた。 健康診断受検率は年々増加傾向にあり、その後の病院受診率も増加している。今後、事後指導も含め全員参加を目指していきたい。 心身の健康について生徒自身が気づく機会となったが、改善・充実させる個々への支援は難しく、今後の課題である。 配慮を要する生徒に関する情報共有を教職員間で行い、必要な関係機関との連携を図ることができた。 学校生活を送るための具体的な支援は難しく、課題も多い。 今年度より新たに新・転入生を対象に全員カウンセリングを実施した。4名の継続面談につながり大変有効であった。 生徒のソーシャルスキル向上のためコミュニケーション講座を実施した。対人関係を構築することに困難を感じている生徒は多いが参加数はそれほど多くなく、開催時間等、見直す必要がある。 |
| | | 配慮を要する生徒について、教職員全体で情報共有し、より良い支援をする。必要に応じて、関係機関等と連携を図り、より充実した支援を行う。 | B | | |
| | 健康的な生活習慣の確立と心身の健康課題への対応力を育成 | 健康診断を受けさせ、その後の加療を受けさせるように指導し、自分自身の健康と生活習慣を見直す機会とする。 感染症予防や薬物乱用防止の啓発及び指導により、健康・安全教育の充実を図る。 | A A | A | |
| 保健・安全 | 社会的自立・自律に向けて、自分の心の在り様や人間関係の構築力を育む。 | スクールカウンセラーと連携し、カウンセリングの啓発や講演を通して、生徒が自分自身の心を見つめることができるように図る。 | B | B | |
| | | ストレスマネジメントやメンタルヘルスに関する講演を企画し、生徒が自分の心の健康について考え、気づく機会を図る。 | A | | |
| 事務部 | 生徒及び教職員が安全・安心な学校生活を送れるように教育環境を確保する。 | 通信教育の特性に応じた教育活動を進められるよう、効果的な予算執行に努める。 ネット環境の充実に努める。 | B | B | 通信制の教育活動に沿った予算執行について、要望を満たすことができない部分もあり、次年度は改善していきたい。 電話・窓口対応については丁寧な対応を行うことができた。 生徒の修・就学支援については、個別にきめ細やかな対応を行ってきたが、不十分な事項もあった。 会計事務処理について適正に処理を進めることができた。職員の相互チェックを一層高め、事務処理遅延や軽易なミスを生じないように引き続き努めていく必要がある。 |
| | 信頼される学校づくり | 生徒、保護者、来客者及び地域住民に対する窓口対応、電話対応等明るく丁寧な対応を行う。 | A | | |
| | 生徒の修・就学支援の充実 | 保護者・生徒に対する十分な案内周知と丁寧な対応を行い、就学支援金・教科書補助事業・その他各種奨学金事務を円滑に実施する。 | B | | |
| | 適切な会計事務の執行 | 職員相互のチェック体制を強化し、給与、旅費及び会計事務等の適正な処理に努める。 会計事務研修への積極的参加に努める。 | A | | |

| | |
|---------------|---|
| 学校運営協議会による評価 | 多様な年齢や特性を抱えた生徒が在籍している状況を踏まえ、引き続き臨機応変に対応するとともに、生徒の頑張りが地域社会に伝わるような手立てを講じてはどうか。また、様々な事情を抱えた生徒の「居場所」としての通信制の存在意義は大きい。今後とも通信制生徒のために、学力保障や進路実現に向けて尽力いただきたい。 |
| 次年度に向けた改善の方向性 | 生徒の成果が、地域社会に伝わるような手立てを検討するとともに、多様な特性を持った生徒が「安心・安全」に学校生活を送れるよう、最適な環境を構築する。また、ICTの利活用を通して、効果的な学習環境を整備するとともに、適切な進路指導を展開できるよう模索する。 |